

日本史(1) 「旧石器時代」(教科書 p. 8~p. 10)

○今回のポイント

1. 日本列島と日本人

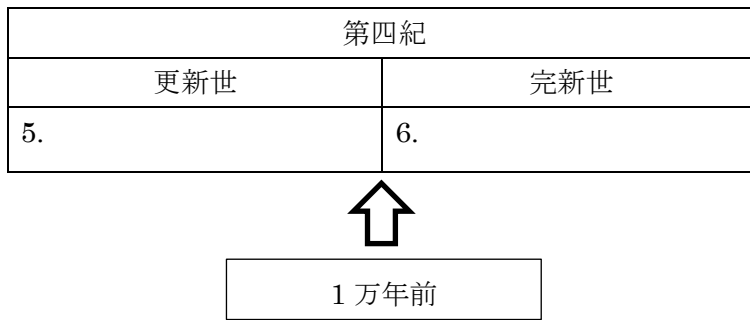
(1) 人類の誕生

- ・人類が誕生したのはおよそ[1. _____]年前。
- ・地質学上の区分: 「新第三紀」の中新世後期

「日本史」は地質学で[2. _____]と呼ばれる時代からスタートする! まだ現在のような日本列島は存在していない。

(2) 人類の発展

- ・人類が発展したのは「新第三紀」の終わり近くから「第四紀」の時期
- 第四紀を、1 万年前余りを境にして「3. _____」と「4. _____」に区分する。



(3) 更新世の特徴

- ① 更新世は[7. _____]とも呼ばれる
 - 寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期が交互に繰り返して訪れる。
- ② 氷期には海面が現在に比べると著しく下降し大陸と陸続きとなる。
 - トウヨウゾウや[8. _____]がやってきたと想定されている
 - ※ **大型動物を追って人類も日本列島にやってきたと言われている。**(証拠はナシ)
- ③ 更新世の終わり → 1 万年前余りに海面上昇が起こり[9. _____]成立 時代は完新世へ

(4) 化石人骨

- ① 日本列島で発見された更新世の化石人骨は全て新人段階のもの。
 - ・ [10. _____] : 静岡。
 - ・ [11. _____] : 沖縄。小柄で顔が四角く立体的。オーストラリア先住民と類似。南方渡來說。
 - ・ [12. _____] : 沖縄。
- ② [13. _____] … 1931 年に兵庫県で発見。当初は原人とされていたが新人であり、さらに更新世時代のものではなく完新世時代である可能性の方が高い。
- ③ 日本人の起源
 - ・ 日本人の原型: 古くからアジア南部に住んでいた人々の子孫 ⇒ [14. _____]
 - ・ 混血: 縄文人 + 北アジアに住んでいて [15. _____] に渡来した人々 → 現在の日本人
 - ※ アイヌ人、琉球民族は縄文人の特徴を強く受け継ぐ。

2. 旧石器時代人の生活

(1) 石器時代

- {
- ① 更新世 — 打ち欠いただけの[16. _____] — 旧石器時代
 - ② 完新世 — 磨き上げて仕上げた[17. _____] — 新石器時代

(2) 旧石器時代の特徴

① [18. _____] の功績

- ・日本には旧石器時代の遺跡は存在しないと考えられていたが、群馬県の[19. _____]の調査により、打製石器が確認される。 → 旧石器時代の文化の存在が明らかになる。

② 旧石器時代の生活

- ・ (a) [20. _____] と [21. _____]
 - 石槍：[22. _____] や [23. _____] などを棒の先端につける。
 - ・ 獲物は [24. _____] ; ナウマンゾウ、オオツノジカ、ヘラジカ
 - ・ 旧石器は [25. _____] ・ ナイフ形石器 ・ 尖頭器 ・ 細石器の 4 種類を覚える
- ・ (b) 移住生活：食料を求めて一定の範囲内を移動
 - 住居：テント式の小屋、一時的に [26. _____] を利用する
- ・ (c) 生活集団
 - ・ 10 人前後で小規模なもの。
 - ・ 遠隔地から石器の原材料を手に入れて分配する部族的な集団も。

(3) 細石器について

① [27. _____] とは！？

- ・ 細石器は長さ 3～4 cm の小石器(細石刃)を、木や骨などでつくった軸の側縁の溝に何本か並べて埋め込んで用いる組み合わせ式の石器。
- ・ 北海道の [28. _____] などが知られる。 → 地図チェック(教科書 p.9)

② 細石器文化

- ・ 中国北東部から [29. _____] にかけて著しく発達。北方から日本列島におよんだ。

3. 考古学的な遺跡や遺物の年代を測定する方法

(1) [30. _____]

- ・ 樹木の年輪を利用して年代を決める方法。樹木の年輪は毎年 1 本ずつ形成されるが、その幅は春から夏にかけての気温と雨量によって左右されるので、この年輪幅の変動を利用できる。

(2) [31. _____]

- ・ 生物遺体の炭素 14 の残存量を測定し、死後経過した年数を算出する。大気や大気中に生息している生物には放射性炭素 14 が含まれているが、生物の死後一定の割合で減少するので、この原理を応用する。

(3) [32. _____]

- ・ 年輪年代法で正確な年代の知られている試料を炭素 14 年代法で測定して年代ごとの誤差を明らかにして炭素 14 年代法の誤差を補正する方法。
- ・ これによると縄文時代の始まりは 1 万 6500 年前、弥生時代の始まりは約 2800 年前になる。